

海老名災害ボランティアネットワークのホームページで、ご覧になれます。  
アドレス: [Http://www.ebina-saibora.net/](http://www.ebina-saibora.net/)

# 参加者募集!

災害時に被災者の要求と  
ボランティアの主体性を.....

## 災害ボランティアコーディネーター養成講座 (初級編)

- ◇ 日時 平成23年11月26日(土)・27日(日)  
9:45~16:00(受付9:30)
- ◇ 会場 海老名市消防本部会議室(海老名市大谷816)
- ◇ 定員 先着20名(両日参加できる方)
- ◇ 趣旨 大災害時全国から駆けつけるボランティアと被災者の間に立ち、ボランティアの派遣調整を行う災害救援ボランティアセンターのスタッフ(災害ボランティアコーディネーター)の養成講座です。  
これは、大災害時に、海老名市民の海老名市民による海老名市民のための救援活動です。一人でも多くの方々に受講していただき、被害の小さい市民が大きな被害を受けた市民の自立に向けた手助けが出来る活動を目指す講座です。
- ◇ 対象 海老名市在住・在勤・在学の方で2日間出席できる方。
- ◇ 参加費 無料(筆記用具及び昼食・飲料水は各自用意して下さい。)
- ◇ 参加申し込み 事前にFAX又は、e-mailでお申し込みください。
- ◇ 申し込み締め切り 11月19日(土)



皆様のご参加をお待ちしています



主催: 海老名災害ボランティアネットワーク  
共催: 海老名市社会福祉協議会  
後援: 海老名市  
海老名市消防本部

# 災害ボランティアコーディネーター養成講座カリキュラム

● 2011年11月26日（土）1日目 会場：海老名市消防本部会議室

時 間	プログラム	講師
9:45～10:00	15 開会・オリエンテーション	事務局
10:00～10:20	20 自己紹介 受講動機	
10:20～11:00	30 海老名災害ボランティアネットワークの役割・活動	海老名災ボラ

10分間休憩

11:10～12:00	50	海老名市地域防災計画における災害ボランティアについて	市長室 政策経営課 危機管理係
-------------	----	----------------------------	-----------------

昼 食

13:00～14:30	90	被災地での消防の活動	海老名市消防本部
-------------	----	------------	----------

10分間休憩

14:40～15:40	60	災害時における社会福祉協議会の役割	海老名市社会福祉協議会
15:40～16:00	20	振り返り	事務局

● 2011年11月27日（日）2日目 会場：海老名市消防本部会議室

時 間	プログラム	内容と講師（目的）
9:30～ 9:45	15	通信指令室見学 市長室 政策経営課 危機管理係
9:45～10:45	60	ボランティアセンターの運営 海老名市社会福祉協議会

10分間休憩

10:55～12:25	90	災害ボランティアセンター設営訓練 其の1	海老名市社協・海老名災ボラ
-------------	----	----------------------	---------------

昼 食

13:15～14:45	90	災害ボランティアセンター設営訓練 其の2	海老名市社協・海老名災ボラ
-------------	----	----------------------	---------------

10分間休憩

14:55～15:30	35	振り返り	事務局
15:30～16:00	30	終了式	事務局

<p>問合せ</p> <p>▽海老名災害ボランティアネットワーク 橋本 TEL 090-3229-8069</p> <p>▽海老名市社会福祉協議会 増田・中島 TEL 046-235-0220</p> <p>▽政策経営課 危機管理係 安宅 TEL 046-235-4790</p>	<p>申し込み</p> <p>FAX 046-235-0191(社会福祉協議会)</p> <p>E-mail edvn-info@ebina-saibora.net</p>
--	--

.....申 し 込 み 用 紙.....

氏 名		性別	生年月日	年 月 日生
		男・女		
住 所	〒	連絡方法	電話番号	( )
			FAX番号	( )
			携帯電話	( )
			メールアドレス	

# 災害ボランティアコーディネーター養成講座カリキュラム担当

● 2011年11月26日（土）1日目 司会：松尾忠 受付：高堰テツ 松村芳子  
 参加者 11名（松村(昭)、松村(芳)、高堰、松尾、江間、飯田、水本、福田、松本)(午前のみ 青木、高田)

時間	プログラム	講師
9:45~10:00	15 開会・オリエンテーション	青木仁
10:00~10:20	20 自己紹介 受講動機	
10:20~11:00	40 海老名災害ボランティアネットワークの役割・活動	飯田寛 松本愛子
10分間休憩		
11:10~12:00	50 海老名市地域防災計画における災害ボランティアについて	市長室 政策経営課 危機管理係 二見係長
昼食		
13:00~14:30	90 被災地での消防の活動	海老名市消防本部 救助隊 柏木隊長 藤本副隊長
10分間休憩		
14:40~15:40	60 災害時における社会福祉協議会の役割	海老名市社会福祉協議会
15:40~16:00	20 振り返り	事務局 中島 岩沢

● 2011年11月27日（日）2日目 司会：松尾忠 受付：高堰テツ 野本みな子  
 参加者 9名（松村(昭)、高堰、松尾、江間、水本、福田、野本、松本)(午後のみ 飯田)

時間	プログラム	内容と講師（目的）
9:30~ 9:45	15 通信指令室見学	市長室 政策経営課 危機管理係 安宅主査
9:45~10:45	60 ボランティアセンターの運営	海老名市社会福祉協議会 地域福祉課 増田課長
10分間休憩		
10:55~11:40	45 災害ボランティアセンター設営訓練解説	松本愛子
11:40~12:25	45 災害ボランティアセンター設営訓練 其の1	受付・登録班担当：江間基生 マッチング・送り出し班担当 ：福田博
昼食		
13:15~14:00	45 災害ボランティアセンター設営訓練 其の2	
14:00~14:45	45 災害ボランティアセンター設営訓練 其の3	帰着報告受付班担当：水本晶子
10分間休憩		
14:55~15:30	35 振り返り	事務局
15:30~16:00	30 終了式	事務局

## 海老名市災害救援ボランティアセンター設営訓練

被害想定：11月23日5時 神縄・国府津-松田断層帯地震 地震規模 M7.5 海老名市震度：6弱

全壊棟数	4,780棟	避難者数	死者	30名	
半壊棟数	7,200棟	高齢者世帯数	5,190世帯	負傷者数	1,740人
出火件数	10軒	要介護度3以上	1,000人	重傷者数	330人
焼失件数	250軒				

## 養成講座参加者数

エレベーター停止	240台	断水(直後)	19,880軒
停電軒数	23,650台	下水道機能支障	2,320世帯
LPガスボンベ被害	480本	通信不通回線	19,360回線
都市ガス停軒数	15,290軒		

26日	37名
受講者	22名
EDVN	11名
社協	3名
市	1名

避難者数(1日後)	44,760人	帰宅困難者(直後)	12,750人
		帰宅困難者(2日後)	0人

27日	34名
受講者	21名
EDVN	9名
社協	3名
市	1名

ボランティア対応

A班 受付・登録班(ボランティア対応) 担当：江間基生  
 B班 マッチング・送り出し班 担当：福田博  
 C班 帰着報告受付班 担当：水本晶子

## 養成講座「設営訓練振り返り」まとめ：11月27日（日）15時～16時（2日目）

### 1 ボランティアセンター設営訓練の状況（討論の背景）

ボランティアセンター設営訓練は、27日の受講者21名が3グループ（③×7名、A、B、C）に分かれてコーディネータ役となり、主催者側13名（災害ボランティアネットワークの会員9名、社協3名、市職員1名）がボランティア役となって実施した。主催者側から3つの班に災害ボランティアの会員が各1名付き、訓練の中で説明・助言を行った。

初級講座の設営訓練で行ったのは、「ボランティア対応」の（受付・登録班、マッチング班、帰着報告班）である。

### 2 「振り返り」（討論の状況）

災害ボランティアコーディネーター養成講座（初級編）の最後に、受講者による設営訓練の振り返りが行われた。訓練での3つの班の活動を中心テーマに「振り返り」を行った。各グループは、司会進行、記録、全体会議での報告者を決めて討論を開始した。A、B、Cグループでの討論の報告と質疑を全体会議（15時30分～16時）で行った。

#### ●Aグループの討論の報告

〈参加して得られたこと〉

- ①実際にコーディネート訓練を体験することで、実施する内容が理解できた。
- ②東日本大震災で、ボランティアに参加したが、コーディネータのお陰でうまく活動できたことに気付いた。

〈要望〉

- ①事務局が作成して配布されたボランティア依頼票の内容が、作業内容の漠然としているものもあった。依頼の内容をもっと明確に、詳細に表現して欲しかった。
- ②当日、マニュアルと依頼票・求人票などの書類が渡されたが、全体の流れが分かりづらかった。マニュアルもフロー図をうまく利用し分かりやすくして欲しかった。
- ③ボランティアに渡す書類とコーディネータ側に残す書類の区別を、もっと分かりやすくして欲しかった。

#### ●Bグループの討論の報告

〈全体的なことについて〉

実際に動いてみないと分からない部分に分かって良かった。

しかし、次の点での改善が必要です。

- ① ボランティアとして外国人用も来るので、外国人用のマニュアルも必要である  
（英語、中国語、韓国語など）

- ②分かりやすいマニュアルへの改善

フローチャートのように図式化すること、書類はポイントを絞った記入例が必要である。

〈マッチング班として訓練について〉

- ①掲示板にボランティア求人票を張り出す時に、コーディネータによるボランティアへの声かけも重要であるが、張り出す票の優先順位を明確にして欲しい。

②今回は、班員全員が同じ作業をすることで作業全体を体得できるように、マッチング班内での役割分担はしなかったが、班内で役割分担をした方が作業の流れがスムーズになると思う。

③専門ボランティア（看護師、介護士、建築士など）がボランティアセンターに来た場合に、すぐに対応できるように、求人票をカテゴリー別に分類整理して管理しておくことが必要である。

④作業場所をボランティアリーダーに説明する場合、海老名市の地理や道路の被害状況などに詳しくないと、説明できない。市内の地理に詳しい人を地図説明の専門員として置いて欲しい。

⑤個人ボランティアを一つのグループとしてまとめる場合、年齢や体力、経験なども含めて調整することが必要だと思う。東日本大震災の被災地でボランティア活動をしたときに、ボランティア同士が対立した経験がある。ボランティア内の対立を避けるために、できるだけ「相性」にも配慮してほしい。

⑥ボランティアが作業している時間帯に、ボランティアセンターのコーディネータが作業現場をまわって、作業の進捗状況や安全管理の状況、リーダーが役割を果たしているかなども含めて、作業現場の状況を中間的に把握しておくことが必要だと思う。

〈帰着報告班としての訓練について〉

①帰着報告のときに、資機材の返却も完了したことも分かるようにしたほうがよい。

②不明な点があれば、訓練だからといってアイマイにしないことが重要だ。

③ボランティア活動中に怪我・事故などが起こった場合の対応が分からなかった（現場グループ・リーダー及びコーディネータの対応？）

④全員・全グループが帰ってきたことの確認は、誰が行うのかよく分からなかった。

〈受付・登録班としての訓練について〉

①受付・登録は、特定の時間に作業が集中すると思うので、その時には多くのコーディネータを集めて対応することが必要である。また、多人数のボランティアが集まった場合、整列させたり、待機場所や次の場所へ案内する人も必要になる。他の班から人を集めることも含めて、そうした状況を想定した訓練を実施してほしい。

## ●Cグループの討論の報告

〈訓練に参加して良かった点〉

①東日本大震災の被災地でのボランティア活動の経験者が多いが、コーディネータの経験はなかったので、それを訓練で経験できたことは良かった。ボランティア受け入れ側の状況がわかったので、今後のボランティア活動に役立つと思う。

②消防の司令室見学やボランティアセンターの設置場所など、さまざまなことが分かったので良かった。

〈改善点〉

①書類の様式が分かりにくいので、改善してほしい。

②作業現場の地図が添付されていたが、ボランティアセンターを屋外に設置した場合、パソコンやプリンター、コピー機、発電機などセンターにとって必要な機材は確保できるのか。それは普段はどこに置いてあるのか。

③地図だけでは現場の状況が分かりにくいので、コーディネータが作業の前に現場に行って状況を見ておくことができるようにしてもらいたい。

〈要望〉

①災害に関して市民の関心が高まるように、養成講座だけでなく災害時の対応なども含めて、広報活動を強化してほしい。市や社協、災害ボラが協力して、災害に関わる情報を定期的に広報することも検討してほしい。

②海老名がボランティア活動を行った被災地現場の状況、その後の状況について、主催した団体側でフォローしておいて欲しい。

# 災害ボランティアコーディネーター養成講座初級 受講者アンケート

(2011/11/27に配付し回収)

アンケート回収率

27日参加者	21名
アンケート提出者	19名
回収率	90%

## 1 今回の講座受講の動機は何ですか(複数回答 可)

区分	回答状況								計	率	
①災害体験に関心があった	無記入	○		○		○				6	32%
②知人、親戚に被災体験者がいる					○	○				4	21
③ボランティアに感心があった。			○	○	○	○	○			14	74
④その他							○	○		4	21
計		1	1	5	4	3	1	1	3	19	—

④の内容 ④だけの人	災害ボランティアコーディネーターの役割、活動について知りたかった ボランティアコーディネーターに感心があった 被災地の活動をしてコーディネート側の立場理も解したかった
③と④の人	人の役に立ちたい思いだけです

## 2 過去に同じような講座を受講したことがありますか

回数	0	19
----	---	----

## 3 あなたは、ふだん災害に対して何か備えをしていますか

区分	回答内容				計	率
①十分な備えをしている	○				1	5%
②多少備えている		○			13	68
③何もしていない			○		5	26
④分からない				○		
計	1	13	5	0	19	—

## 4 受講して印象に残った講座は(複数回答 可)

区分
①海老名災害ボランティアネットワークの役割・活動
②海老名市地域防災計画における災害ボランティアについて
③被災地での消防の活動
④災害時における社会福祉協議会の役割
⑤通信指令室見学
⑥災害ボランティアセンター設営訓練開設
⑦災害ボランティアセンター設営訓練
計

	回答状況											計	率	
①	無記入	○	○	○	○	○	○	○	○			○	13	68%
②		○	○	○	○				○			○	11	58
③					○			○		○		○	9	47
④							○	○	○			○	9	47
⑤											○	○	7	37
⑥				○		○					○	○	9	47
⑦			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	84
計		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	19	—

## 5 講座内容等お気づきの点が有りましたらご記入下さい

- ◎ まとめでのべている。
- ◎ 受付、マッチング、帰着係の訓練の際、ボランティアセンターの方が一度やっていただいた後、訓練を行った方がわかりやすい(イメージをつかみやすい)と思いました。
- ◎ 設営訓練の前に事務局の方で見本を行うと理解が早くわかりやすい。
- ◎ 実際に設営訓練をやってみて難しい事を感じました。
- ◎ 災害ボランティアコーディネーターの訓練は、よく活動が理解できたが、ボランティアに参加する側のロープレもやった方がさらに理解が深まったと思う。
- ◎ 実際に現地でボランティア活動の経験がなかったので、順番に設営訓練をしたのはよかったと思います。
- ◎ とても有意義でタメになりました。
- ◎ 初めての受講でした。とても貴重な体験をさせて頂いた気分です。関係スタッフの方に感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ◎ ロープレの際、口頭だけでなくお手本をやってみせると皆さんの理解も早いと思いました。
- ◎ (1) 説明をもっと分かり易い図にすると良い(例、ボラコーディネータマニュアルなど)読むのがつらい。  
(2) 相手に渡す書類と事務局保管の書類をもっと分かり易くする。(どれを渡すのか分かりづらい)左上隅に事務局保管など入れる。

## 6 講座内容にご意見・ご感想が有りましたらご自由にお書き下さい

- ◎ まとめでのべている。
- ◎ 2日間ありがとうございました。
- ◎ 実際に動いた訓練ができてよかった。  
振り返りまで組み込まれていたのが知識が定着できたと思う。ボランティアとして活動するのは、時間も労力もかかって大変だと思いますが、長く活動を続けてほしいと思います。
- ◎ 機会があれば中級、上級を受けたいと思いました。
- ◎ 2日間ありがとうございました。  
大変勉強になりました。
- ◎ この様な機会を得る事が出来、有難うございました。  
一般、市民
- ◎ 最初にこの講座の明確な目的、開催回数、受講者数、コーディネーター数の説明がありませんでした。  
受講者全員が終了したその時からコーディネーターになるのか、認定があるのか、わからずじまいでした。
- ◎ 経験したことで、理解できることが、たくさんあった。
- ◎ 初級講座を受講させて頂き、習得できたことはたくさんありました。ただ一度だけの練習で本番を迎えられるか?という不安はあります。
- ◎ 中身をもっともっとよくしていきましょう。今後共よろしく願います。
- ◎ 準備大変ご苦労様でした。体験を生かせる様がんばります。
- ◎ 大変有意義でした  
ボランティアに参加したいと思います。
- ◎ 今後も同様の講座等を企画していただき、市民全体への気付きになればと思います。  
私にとっての貴重な体験になりました。